



淀川愛好会 YODORIC NEWS

No.81 2018年3月発行

〈社会人の窓 1〉

淀川愛好会との繋がり、淀川のこれから

前川勝人

淀川愛好会の皆様、こんにちは！私が淀川流域に来て、もうすぐ4年が経過します。淀川流域で活動をしている中で、澤井先生と御縁を頂く機会があり、全く知らない場所であった流域での活動幅が一気に広がりました。多くの方々と一緒に活動できることがありがたく、感謝をしております。昔は、川を軸に生業とする人を「川人（かわど）」と言っていたそうですが、私も川に纏わる仕事で生計を立てているので現代版「かわど」です。たまにですが、私の名前に「川」と「人」が入っていることに気づく方がいて、羨ましがられたりします。

淀川愛好会の歴史をさかのぼると平成9年の河川法改正と同じ21年前に発足されています。河川法の改正は、従来の「工事实施基本計画」に代えて「河川整備基本方針」と「河川整備計画」に基づき河川改修を進める改革が起こった出来事でした。治水・利水・環境の難しい三つ巴バランスを調整し流域の特性を捉え未来に向けて「より良い川づくり」を河川管理者、学識者、流域住民が連携して行うことは、誰もが未経験のことでした。当時、私は河川行政の技術サポート実務者として駆け出しの頃で、何が正解なのかも判らない状況の中、全てを吸収することに徹しました。その実践スタイルは今も変わらず、九頭竜川・北川・大和川の各水系を経て、淀川でも活かされています。

一般的に河川整備計画は30年で完了するように策定されます。淀川水系も「この計画で、向こう30年は大丈夫」と学識者、流域住民、河川管理者が何度も協議を重ね策定されました。それから10年が経ちましたが、現在の社会情勢や気象状況などが策定時に予想していた条件と微妙に違うことで「現計画で良いのか？」と不安を抱いています。同じような考えの方々もいるでしょうが、その意識は、非常に大切だと思っています。なぜなら河川整備は長い年月が必要で、その時に順応したモノに更新していくことが重要になるからです。そのために川の知識や水辺の心地良さなど、川から学ぶ様々なことを次世代に伝えていくのが私達の役割と感じています。河川整備の大枠となる基本方針は昭和30年代の川の再生を目指して策定されています。今や絶滅したと言われる「川ガキ」が多く生息していた時代です。人と川が共存し賑わいの空間を多く創れるよう、皆さんと一緒に活動できればと思っています。

(水辺に学ぶネットワーク)

イベント案内

(詳細は3～4ページ)

淀川愛好会春のイベント 「大川クリーン活動 & 川で学び・つながる」

日時：2018年4月29日(日・祝)10:00～14:30 場所：大阪ふれあいの水辺(源八橋周辺)

天若湖アートプロジェクト2018 「あかりがつなぐ記憶」

日時：2018年6月2日(土)・3日(日) 場所：日吉ダム(京都府南丹市)

イベント報告

淀川愛好会 総会・新年会 2018

1月6日(土)に寝屋川市駅近くの『酒処かつみ』で淀川愛好会 総会・新年会 2018 が行われました。澤井先生をはじめ、淀川愛好会お馴染みのメンバーに加え、今年は初めての顔ぶれや、摂南大学エコシビル部から初めての参加の学生も席を交え、楽しく美味しい鍋をつつきました。淀川愛好会のこれまでのあゆみや、2017年度の活動の総括、2018年度の活動予定についての確認をした後は、各々時間の余す限り川について話し合いました。(F・Y)

2017年度の事業報告

日程	内容	開催場所
4月29日(土)	春のイベント	淀川点野砂州
6月3日(土)	ホテル観賞会	関西創価学園
7月29・30日(土・日)	夏のイベント	淀川三川合流 さくらであい館
11月23日(木・祝)	秋のイベント	茨田樋遺跡公園
1月6日(土)	総会・新年会	酒処かつみ(寝屋川市駅前)
2月24日(土)	淀川討論会	摂南大学

2018年度の事業計画

日程	内容	開催場所
4月29日(日・祝)	春のイベント	大川
6月初旬	ホテル観賞会	関西創価学園
8月4・5日(土・日)	夏のイベント	摂南大学・淀川点野砂州
10月・11月頃	秋のイベント	未定
1月12日(土)	総会・新年会	酒処かつみ(寝屋川市駅前)
2月23日(土)	淀川討論会	摂南大学

第3回 寝屋川再生ワークショップ

1月13日(土)に寝屋川市上下水道局で寝屋川再生ワークショップが行われました。今回の主な議題は2017年11月に山新池で行われたアリゲーターガーの駆除活動の経過や、その後の池の環境の変化の報告がされた後、今後の池の活用方法や、池周辺の遊歩道整備についての話し合いが行われました。今後の主な課題としては、山新池から離れてしまったサギなどの鳥類をどのように呼び戻すかが挙げられました。その後、サギが何羽か帰ってきているのが確認されています。(F・Y)

第8回・第9回 点野水辺づくりワークショップ

1月30日(火)と2月27日(火)に摂南大学寝屋川キャンパスにて淀川河川事務所主催の点野水辺づくりワークショップが開かれました。1月30日(火)のワークショップでは、前回のワークショップで行ったドローン撮影による点野砂州の空撮写真を用いて、今後の点野地区の維持管理や水辺での安全管理、また、市民とのネットワークづくりなどについて議論が交わされました。今後、このプロジェクトをより良くするためにも、周辺地域の企業や団体の方々へ積極的に声をかけていき、活動の輪を広げていくべきだと感じました。2月27日(火)のワークショップでは、寝屋川市役所と株式会社エクセディから参加があり、いつもより活気のあるワークショップとなりました。議論では、再整備後の点野公園地区の活用方法についての案を出し合い、動植物観察会や釣り大会などのイベントを開催することやドッグランなどの利用の案が出されました。さらに来年度以降は、水辺空間の安全対策事例を勉強・見学をする試みがブレック研究所から発表され、再整備後のイメージをより一層膨らますことができました。(Y・M)



淀川京街道クリーン大作戦

2月18日(日)に淀川京街道クリーン大作戦が点野地区で開かれました。淀川水系一斉美化アクションの一環としての清掃活動のため、ねや川水辺クラブ、淀川管内河川レンジャー、摂南大学エコシビル部をはじめ、トヨタの企業の方や一般の方など計51名で活動に取り組みました。木に引っかかっているごみ(ビニールなど)は「ひっかけ」と呼ばれる道具を使って取り、水際に溜まっていた小さいごみから大きいごみもたくさん取ることができました。この活動を通じて、より良い自然な水辺づくりを実現するには多くの方の協力、マンパワーが必要だと感じました。(B・M)

第11回 桂川流域クリーン大作戦

2月18日(日)に桂川クリーン大作戦に摂南大学エコシビル部が参加しました。河川団体や地域の皆さんと協力し、ペットボトル、お菓子の袋などの合計で約30袋分のゴミを拾うことができました。改めて、日頃からゴミを捨てる人が絶えないことがわかったと共に、川を愛し、清掃活動を継続することの大切さを学ぶことができました。また河川清掃活動を行う際も、一生懸命活動してまいります。(M・H)

第2回 近畿河川フォーラム 兼 第20回 淀川討論会

2月24日(土)に淀川討論会が摂南大学で行われました。澤井健二会長の挨拶の後、山道省三氏から河川協力団体の動きについての説明や国土交通省近畿地方整備局から河川協力団体の現状についての情報提供がありました。



その後、各河川協力団体および関係団体から水防法や防災、山里川海をつなぐ問題の提供、意見交換が行われました。特に、自分の研究内容でもある巨椋池干拓地の遊水地化構想についての情報提供では、遊水地の形状や地域との合意形成、保険保障の問題などの課題が多く出たので、今後も話し合いや研究を続けていき、実現に近づけていきたいと思いました。討論会後は、守口市の松口三姉妹「ぽぽぽくらぶ」による生歌コンサートや参加者との立食交流会が行われ、楽しみながら様々な河川協力団体との関わり合いを深めることができました。(O・K)

寝屋川源流探索

3月4日(日)に寝屋川源流探索に参加しました。打上川治水緑地公園で集合し、参加人数25名で出発しました。午前中は、寝屋川市の最高地点や高良神社(打上神社)、石の宝殿、久保池を探索しました。星田新池で昼食をとった後、午後からは聖の滝を目指して登山しました。道は少し険しかったですが、みんな無事に着き、滝の下にある木仏に願いや祈りを込めて、ちゃんちゃんこを着せ替えるといった貴重な儀式にも参加させていただきました。全体を通して、様々なところを探索しながらねや川水辺クラブの方々が一一つ説明して下さいだったので、寝屋川の源流や歴史を学べて、新たな発見ができとても良い体験となりました。(B・M)

今後のイベント詳細

淀川愛好会春のイベント 「大川クリーン活動 & 川で学び・つながる」

日時：2018年4月29日(日・祝) 10:00~14:30
場所：大阪ふれあいの水辺(源八橋周辺)
行程：9:30 受付開始 帝国ホテル前(大川右岸)
10:00 清掃活動開始
11:00 水辺の生き物観察
12:00 昼食(各自持参) & Eボート乗船
14:00 水辺整備状況見学
14:30 解散

雨天決行

共催：淀川愛好会、おお川水辺クラブ

協力：淀川管内河川レンジャー、大阪府西大阪治水事務所

参加費：無料

申込先：淀川愛好会事務局

締切：4月22日(日)



ホタル観賞会

日時：6月2日(土)もしくは6月9日(土)

(天候等によりスケジュールが変わる場合もありますので、日が近くなりましたら事務局までご確認ください。)

場所：関西創価学園中学校・高等学校(交野市寺 3-20-1)

日時：2018年6月2日(土)・6月3日(日) 日没後～深夜 予定

場所：日吉ダム（天若湖）周辺

受付：スプリングスひよし（京都府南丹市日吉町中宮ノ向8番地）

主催：天若湖アートプロジェクト実行委員会

参加費：無料 参加申込：不要

詳しくは天若湖アートプロジェクト公式ブログ・公式Facebookをご覧ください

公式ブログ：<https://amawakaap.exblog.jp/> 公式Facebook：<https://ja-jp.facebook.com/AmawakakoArtProject/>

〈学生の窓 1〉

治水の研究を通じて

北村 美紗樹

春から新社会人として働くことが決まり、学部時代を含め6年間在学していた摂南大学にも別れを告げるときが来ました。特に、進学してからの2年間はやりたいことが明確になって、あっという間に過ぎ去っていきました。

そのやりたいことというのが、一つは防災でした。これは、大学に入る前から思っていたことで、土木の道を選んだきっかけにもなります。また、高校時代は『環境』という言葉に世間が敏感になり始め、私自身も「きっと環境への配慮って重要なのだろうな」というぼんやりした気持ちで大学に入学しました。しかし、このことを研究室に配属されるまで忘れたように構造の勉強をしていました。そのため、石田ゼミを希望に入れ、配属されたのは、今思えばすごい縁だと思います。

研究室では、防災の中でも治水を勉強し、ソフト対策での減災が重要であると学びました。災害が起こる前にハード整備するのが技術者かもしれませんが、災害が起こったとき、人は得意なことをして共助するしかありません。そのときの行動で大きく減災に繋がります。また、環境面では生態系への影響について学ぶことができ、今あるインフラをどう活かし環境保全をしていくかが重要であると感じました。人が暮らす上でインフラは重要ですが、生態系も重要で、両方をうまく管理していかなければなりません。私は今後河川構造物を管理する立場として、水害のときには必死に洪水調節すると思います。また、普段はその構造物が生態系へ与えた影響を重んじ、保全に努めるとしています。大変な仕事だとは思いますが精一杯頑張ります。

(摂南大学大学院 社会開発工学専攻2回生・就職先：独立行政法人水資源機構)

会員募集・寄稿・会費納入のお願い

淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」も随時募集しています。

会員の方は、今年度の年会費（3000円、学生は1500円）を納入して下さるようお願いいたします。

会費は事務局にお届けくださるか、下記の口座にお振込みください。

郵便振替口座：00920-6-116036 加入者名：淀川愛好会

銀行振込口座：りそな銀行 寝屋川支店 普通預金 口座番号：2230030 口座名義：淀川愛好会

編集後記

年度末になると、今年も変わり目を迎える時が来たな、とふと思います。『YODORIC NEWS』は、2013年4月号に節目を迎え、新たに『会員の窓』を設け、会員相互間の情報交換の場としました。爾来、80号までリレー形式で会員の声を載せてきました。同号で『会員の窓』は会員間で一巡してその役割を終えました。

編集部で協議した結果、『会員の窓』は新たに『社会人の窓』として renewal し、日頃淀川に関わっている会員外の方々にも寄稿をお願いすることになりました。さらに、学生さんの寄稿欄は『学生の窓』に名称を変更して継続することになりました。これらの変革が、『活かそう水辺、つなごう流れ』淀川愛好会』に新たな息吹を吹き込んでくれることを望んでいます。

最後に、この一年を『YODORIC NEWS』原稿を作成し、支援してくれた学生豆記者たちに労を労い、お礼を申し上げますとともに夢と希望に満ちた新たな世界でのご活躍を祈念します。

編集長 相本太刀夫（元摂南大学薬学部教授）

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内

TEL/FAX：072-839-9125

HP：<http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail：ishida@civ.setsunan.ac.jp